

JA全農えひめ情報

# みらいへど

■特集

「にこまる」の生産振興・ブランド化の取り組み

■JA直売所めぐり

〈総集編 中・南予〉

6

2014・June



▶1頭ずつセリ場中央に進んでセリにかけられる。



## 野村臨時 家畜市場

(西予市)



J A全農えひめは、県内産肉牛繁殖生産基盤の維持拡大に向け、県内産肉専用和子牛の円滑な取引と市場性を高めるため、西予市野村畜産総合振興センターで、年6回偶数月に「野村臨時家畜市場」を開催。電算セリ機を使って、県内産肉専用和子牛のセリを実施しています。

野村臨時家畜市場は、平成7年6月に、それまで継続していた農協ごとの臨時市場関係農協と協議し、県下統一の広域農協臨時家畜市場として、J A全農えひめが開設しています。年5回開催の平成7年度(553頭)を除き、毎年600頭以上が入場しており、21年度は過去最高の795頭となるなど平成20年度以降は毎年700頭以上が入場し、活発にセリ取引されています。

また、毎年4月に開催される市場では、J A全農えひめ主催「愛媛県子牛品評会」の出品牛によるセリを実施しています。今年4月18日開催の市場では、県内を中心とした購買者を前に、出品された子牛119頭が1頭ずつ入場してセリ場中央に進み、高値水準でセリ落とされていました。

※4月18日開催の子牛品評会・臨時家畜市場については、11ページに詳細を掲載しています。

# めぐり〜ど

June 2014

## CONTENTS

### 全農グループの経営理念

私たち全農グループは、  
生産者と消費者を安心して結ぶ  
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

### 今月の表紙



甘い香りのタイサンボクの花も雨に打たれて茶褐色に色あせてしまいそう。お父さん手づくりの立派なてるてる坊主に願いを込めつつ、歯と口の健康週間はしっかり歯磨き、寝支度を整えましょう。目覚めれば、七色の虹が架かった明るい朝でありますように。お願い！てるてる坊主さま！

●表紙：雨の夜  
はら ふみ(イラストレーター)

※「めぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.162

### 野村臨時家畜市場 (西予市)

2

〈特集〉

「にこまる」の生産振興・ブランド化の取り組み  
「にこまる」の生産拡大にあわせ  
認知度向上とブランド確立めざす

5

THE・ねっとわーく

8

ふるさと ESSAY VOL.230

未来を作り上げていく  
「出逢い」と「決断」

秦 まどかさん

10

TOPIC NEWS

12

なんでもBOX

13

統計BOX

14

J Aふるさと自慢Vol.162「直売所めぐり」

〈総集編 中・南予〉

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉 **ビワ**

### JA全農えひめ

#### ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画  
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>  
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料  
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)  
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)  
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)  
<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス  
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)  
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

# 「にこまる」の生産拡大にあわせ 認知度向上とブランド確立めざす

J A全農えひめ食糧部は、異常気象等に対応する水稻優良品種への転換と高品質安定生産及び販売体制の確立にむけて、高温耐性品種の「にこまる」を「トータルアグリード事業」のビジネスモデル品目に設定し、生産拡大とともに、安全・安心、高品質・良食味の愛媛県産ブランド米としてブランド確立に取り組んでいます。

今回は、「にこまる」の生産振興とブランド確立に向けた取り組みを紹介します。

## 高温耐性品種「にこまる」の 取り組み経過

「にこまる」は、九州沖縄農業研究センターが育成した品種で、高温でも安定した収量が見込め、食味も良いことから、「ヒノヒカリ」に代わりうる品種として西日本を中心に普及が進んでいる品種です。

愛媛県内でも、中生品種の主力である「ヒノヒカリ」が、食味は良いものの、東予・中予の平坦部を中心に近年の温暖化による登熟期の高

温の影響により、白未熟粒や充実不足粒の発生で1等米比率が大幅に低下するなど品質低下が顕著となる中で、「ヒノヒカリ」に代わる高温耐性品種として、登熟期の高温条件下でも品質低下し難い中生品種の「にこまる」の導入を進めています。

J A全農えひめは、平成23年産から「にこまる」の実証圃を設置し、24年産は、県内9 J A・41か所に実証圃を設置し、「ヒノヒカリ」に比べて成熟期が3〜11日程度遅いものの、収量は5〜10%の多収、1等米比率は68・2%でヒノヒカリの47・

8%を上回る結果となりました。

関係機関と連携して栽培実証等検討を進めてきた中で、愛媛県でも平成25年2月18日に県の奨励品種として採用されました。

こうした中で、J A全農えひめは、25年度から、「トータルアグリード事業」の水稻ビジネスモデル品目として「にこまる」を設定しました。県下平坦部において高温により「ヒノヒカリ」の品質低下が顕著な地域を中心とした作付の推進、安全・安心で高品質・良食味の県産ブランド米としてブランド化を図るとともに、

表1 平成26年産水稻作付計画

品 種	26年産		25年産	24年産	増 減
	作付目標 A (ha)	比率 (%)	作付実績 B (ha)	作付実績 C (ha)	A-B (ha)
コシヒカリ	4,850	32.4	4,610	4,556	240
あきたこまち	3,530	23.6	3,750	3,833	▲220
ヒノヒカリ	3,900	26.1	4,900	4,914	▲1,000
愛のゆめ	100	0.7	80	326	20
にこまる	1,660	11.1	600	149	1,060
松山三井	310	2.1	320	337	▲10
その他	610	4.0	940	1,085	▲330
主食用等合計	14,960	100.0	15,200	15,200	▲240
備蓄米 飼料用米	540		100 200		240
合 計	15,500		15,500	15,200	0

注) 1. 24・25年産作付実績は統計面積より銘柄別を推計。  
 その他品種は、もち米を含む。  
 2. ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

表2 品種別1等米比率の推移(平成19年産~25年産)

	19年産	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	25年産
あきたこまち	39.0%	47.0%	54.1%	16.6%	39.8%	35.0%	14.7%
コシヒカリ	60.0%	50.0%	52.7%	47.1%	61.3%	54.6%	32.2%
にこまる					57.6%	68.3%	80.0%
ヒノヒカリ	17.0%	56.0%	86.8%	8.1%	27.6%	50.5%	52.6%
県 計	39.4%	51.3%	63.2%	27.0%	42.7%	48.3%	37.8%

※25年産は、平成26年3月31日現在

表3 「にこまる」試食アンケート結果

(平成25年11月2日「レインボーフェスティバル」会場)

◇回答者数 165名

Q1. 「にこまる」を知っているか  
 知っている 52名 35.4%  
 知らない 95名 64.6%

Q2. 食味評価

見たい目	にこまる	100名	67.1%
		ヒノヒカリ	49名
香り	にこまる	86名	59.7%
	ヒノヒカリ	58名	40.3%
味	にこまる	96名	60.8%
	ヒノヒカリ	62名	39.2%
粘り	にこまる	87名	55.8%
	ヒノヒカリ	69名	44.2%
総合	にこまる	94名	71.2%
	ヒノヒカリ	38名	28.8%

を大きく上回  
り、県内の気候  
風土への適性が  
J・A・生産者段  
階でも確認され  
ました。  
集荷販売面で

は、大口担い手への米集荷拡大対  
策としてTACとの同行推進を実施  
し、集荷率の向上を図り、目標の  
890tを上回る1,030tの実  
績をあげました。  
また、レインボーフェスティバル  
会場では、PRとともに消費者への  
試食アンケートを実施しました。消  
費者(回答者数165人)からは「に  
こまる」は「ヒノヒカリ」に比べて  
高い食味評価(「にこまる」約71%  
に対して「ヒノヒカリ」29%)を受  
けたものの、「にこまる」を知って  
いる人は約35%とまだまだ認知度は  
低く、26年度を見据えて統一精米袋  
や販促資材の作成など知名度向上対  
策を検討しました。

J・A全農えひめは、25年度におい

〔平成25年度の取り組み〕  
 栽培技術の周知と  
 集荷・販売対策に取り組み  
 消費者アンケートで  
 食味評価の高さを確認

市場評価を早期に確立し、生産者手  
 取りの向上に取り組んでいます。

て「にこまる」の作付推進を図る  
 中、25年産作付面積は前年の150  
 haの4倍となる600haに拡大。関  
 係機関と連携し品種特性や栽培上の  
 留意点を記載した栽培マニュアルの  
 作成・配布を行い栽培技術の周知に  
 取り組みました。  
 25年産米では、「にこまる」の1  
 等米比率が約80%と「ヒノヒカリ」  
 (52・6%)や県平均(37・8%)



〈平成26年度の取り組み〉  
面積は1,660haに拡大！  
統一精米袋等を活用し  
認知度向上に取り組み

26年産「にこまる」は、銘柄別作付計画に基づき、東予・中予地区の

また、生産振興面では、実証圃を設置する中で、さらなる安定生産技術を確立するため、生育後半まで肥効を切らさない施肥体系と適正な栽植密度向上対策の検討を進めました。

平坦地域を中心に「ヒノヒカリ」等において高温による品質低下が顕著な地域での作付けを推進するとともに、高品質生産に向けて引き続き、生育後半まで肥効を切らさない施肥体系と適正な栽植密度向上対策、県内採種圃場での健全種子生産と優良種子供給体制の確立に取り組みます。

26年産「にこまる」は、生産面積が1,660ha、集荷量2,500tを計画しており、生産拡大にあわせて、消費者への認知度の向上やブランド化など販売力強化を積極的に進める必要があります。

このため販売面では、これまで県内の各米卸がそれぞれに精米袋をデザインし、「にこまる」を販売していましたが、安全・安心、良食味を備えた「愛媛県産にこまる」としての知名度を向上させるため、県のキャラクター「みきゃん」を使った県内

米卸統一デザインの精米袋を作成。各米卸では、今後統一精米袋に切り替える予定です。また、同じデザインで作成したポスター・のぼりを活用して、店頭販売や各種イベントで試食販売活動を実施し、県産ブランド米としてブランド化を図ることにしています。

(株)ひめライスでは、今年5月から新たに無洗米「あらうまい！ 愛媛県産にこまる」を発売するとともに、業務用商品を開発して業務用需要の拡大・拡販に取り組んでいます。

今回は、ビジネスモデルの「にこまる」の生産拡大・ブランド化の取り組みを紹介しましたが、米を取り巻く状況は、26年産米の出回りが本格化する時期は前年を大幅に上回る、持越在庫の発生が予想されるなど、販売環境は相当厳しくなると予想されています。

JA全農えひめでは、これらの情勢を踏まえながら、(株)ひめライスとともに県域生販一貫体制に基づき、安全で安心な愛媛の米の生産・集荷・販売に取り組みますので、生産者・JA・関係機関の皆様のご協力をお願いいたします。

# THE ねととわーく

## 「愛媛産かんきつをPRしていただく」 2014愛媛みかん大使を募集

### 果実課

JA全農えひめは、「果樹王国えひめ」のみかん・伊予柑キャンペーンをはじめ愛媛産果実の消費宣伝活動に協力していた



▶2013愛媛みかん大使の皆さん

大きく「2014愛媛みかん大使」4人を募集します。みかん大使による消費宣伝活動は昭和34年度から実施しており、今回が56回目となります。

#### ◆応募資格

- ① 愛媛県内在住の18歳以上（高校生は除く）の元気で明るく好感の持てる方。
- ② モデルなど特定の会社や団体等と専属契約していない方で、他のコンテストに選出されていない方。
- ③ 愛媛県産果実の消費宣伝キャンペーン等の活動に必ず参加でき、明朗・快活で表現力豊かな方。
- ④ 勤務先・学校等の理解と協力が得られ、愛媛みかん大使として年間活動できる方。

#### ◆応募方法

- ① 所定の応募用紙または既存の履歴書等に必要事項を記入のうえ、サービス判程度の上半身の写真を添えて、応募先まで郵送ください。

- ② 応募用紙は、県内JA・JA全農えひめ・リジエール松山・各テレビ局・愛媛新聞社・各大学・専門学校の受付等に置いてあります。また、JA全農えひめホームページからも印刷できます。
- ③ JA全農えひめホームページ「みかん大使募集」ページおよび携帯サイトからも応募できます。※応募書類・写真は返却しません。

#### ◆募集期間

- ① 平成26年6月9日（月）～7月17日（木）（当日消印有効）

#### ◆審査方法

- ① 事前審査（書類審査）  
7月24日（木）
- ② 最終審査（面接審査）  
8月12日、リジエール松山で面接審査を行い、4人を選考。  
JA全農えひめ、愛媛県果樹同志会、マスコミ関係者らが審査します。

#### ◆任命式（8月22日）

関係者による任命式を行い、マスコミに発表します。

#### ◆副賞ならびにプレゼント

- ① 愛媛みかん大使（4人）委嘱料20万円を進呈します。
- ② 最終審査出席者全員

書類審査に合格し最終審査に出席いただいた方には、交通費と愛媛の柑橘ジュースを進呈。

#### ◆「愛媛みかん大使」の活動

- ① 任期  
平成26年9月～27年8月末
- ② 活動内容（年間40日程度）  
全国各地での表敬訪問、テレビ・各種イベント出演、試食宣伝キャンペーン等への参加（日当・交通費・制服一式を支給）。

#### 【キャンペーンスケジュール】

- 11月（みかん）  
東京・大阪
- 1～2月（伊予柑）  
東京・大阪・北海道他
- 4月  
「オレンジデー」関連イベント

### 応募先・問い合わせ

〒790-8555  
松山市南堀端町2番地3  
JA全農えひめ果実課  
愛媛みかん大使募集係  
TEL089-948-5766  
【ホームページアドレス】  
<http://www.eh.zennoh.or.jp>

平成26年産 夏秋野菜出荷計画表  
(単位：ha、トン、%)

品 目	出荷計画		前年比 (%)	
	面積	共販量	面積	共販量
きゅうり	86.1	5,662	106	114
一寸蚕豆	32.7	429	93	95
枝豆	12.0	63	80	88
インゲン	10.9	83	104	94
生椎茸		438		108
トマト	34.0	2,669	99	109
ミニトマト	6.8	275	99	111
ピーマン	19.8	1,023	98	111
伊予なす	14.3	1,098	93	98
松山長なす	4.4	248	92	110
絹かわなす	2.8	280	117	124
メロ	8.0	47	103	139
アスパラガス	20.9	302	96	107
合計	252.7	12,616	99	110

- ④ 安全・安心への取り組み
- ③ 「トータルアグリード事業」を核とした産地振興
- ② 販売促進活動及び消費宣伝活動の強化
- ① 多元的販売への取り組み強化
- 愛媛の夏秋野菜が出揃う7月を「愛媛フェア」強化月間と位置付け早期棚確保を図ります。また、出荷最盛期には試食宣伝や産地参加型の活動展開するほか、料理教室や体験ツアー、「えひめの食」企画との連携など広報対策等を通じて知名度向上やファンづくりを進めます。

野菜課  
花卉課

夏秋野菜出荷協議会を開催  
共販量は前年比110%を計画

J A全農えひめ野菜花卉課は、4月22日、松山市のJ A愛媛別館で「平成26年産夏秋野菜出荷協議会」を開き、主力13品目の販売基本方針を決めました。

栽培面積は前年比99%の約253ha。共販量は前年比110%の1万2,616tを計画しています。販売基本方針では、次の4項目を柱に取り組みます。

パートナー卸売市場との連携による販売、契約的な取引拡大により安定的な単価の確保や、業務・加工向け取り引きなど販売ルート確立・拡充を進め販売力強化を図ります。

売り場確保に向けた市場及び県内外量販店等との結びつき販売の拡充、各産地の特色を活かした品目提案の強化による販売先・消費者からの支持拡大などに取り組みます。

② 販売促進活動及び消費宣伝活動の強化

③ 「トータルアグリード事業」を核とした産地振興

④ 安全・安心への取り組み

「道後温泉で伊予牛『絹の味』食す。」キャンペーン!

～6月15日～9月30日、道後温泉の旅館7館で実施～

伊予牛『絹の味』の消費拡大と道後温泉の宿泊客・観光客の拡大をめざし、J A全農えひめと道後温泉の旅館7館、J Aグループの(株)農協観光愛媛支店がタイアップして、6月15日(日)から9月30日(火)まで、道後温泉本館改築120周年記念「道後温泉で伊予牛『絹の味』を食す。」キャンペーンを実施中です。

今年、道後温泉本館改築120周年にちなんでランチ・夕食ともに伊予牛『絹の味』を1人前120g以上使用した各旅館オリジナル会席料理を提供。“愛媛県＝道後温泉＝伊予牛『絹の味』”をより多くの皆さんにPRするとともに、伊予牛『絹の味』で暑い夏を乗り切ってもらおうという企画です。

先着1,000名様限定の企画で、ランチが2,980円～6,480円(税込)、夕食が4,980円～6,500円(税込)という旅館ごとに設定した料金プランから、予算等に応じてお好みの旅館を選ぶことができます(要予約)。各旅館では、サービスとして柑橘王国愛媛の「柑橘デザート」を提供。旅館内で入浴も楽しめます。なお、飲み物代・宿泊費



及び入湯税(150円)は別途必要です。申し込みは2名様以上。

詳しくは、(株)農協観光愛媛支店まで。

■参画旅館(7館)

ホテル葛城、花ゆづき、道後グランドホテル、ホテル古湧園、道後プリンスホテル、ホテル椿館本館、宝荘ホテル

■問い合わせ・予約申し込み

(株)農協観光愛媛支店 (Tel.089-948-5381)

# 「JAオリジナル住宅プレミアム」 エコキャンペーン実施中!

## 設 課 施 農 住

『JAホーム』では、社会的に地球温暖化防止対策が進む中で、地球環境にやさしい取り組みとして、「はじめませんか? 省エネ住宅でエコライフ。」をキャッチコピーに、平成26年12月30日まで、「JAオリジナル住宅プレミアムエコキャンペーン」を実施しています。

## キャンペーン内容

キャンペーン期間中に、企画型オリジナル住宅「Age (エイジ)」または「イーズマインド」をご成約いただいた方に、①光熱費がお得なヒートポンプ給湯器「エコキュート460ℓ」、②居室に冷暖房効率をアップする遮熱ガラスグレードアップをプレゼントします。

なお、「IHクッキングヒーター付システムキッチン」を標準装備(シンブルタイプはガスコンロ)。オプション工事として、太陽光発電システムも装備できます。

期間中、県内JA・JA全農えひめでは、テレビCM、キャンペーンチラシや広報誌等を通じてPRに努

めていきます。

### 【契約条件】

- ① 延床面積30坪以上。
- ② 県内で建築することのできる物件、もしくは土地を取得予定の物件。
- ③ キャンペーン期間中の契約で、原則として平成27年3月末までに着工できる物件。
- ④ JA全農えひめの住宅取扱要領に合致していること。

## リフォーム推進活動も展開中

『JAホーム』では、同時に、「リフォーム推進活動」も展開しています。住まいの中で傷みややすいバス・キッチン・トイレをはじめ、外壁や屋根の塗装など、住まいのお悩みを解決しながら、ご希望に沿った最適なプランを提案し、お手ごろ価格で快適な暮らしを応援します。

新築・増改築など住まいに関する相談・お問い合わせは、最寄りのJA住宅担当窓口、またはJA全農えひめ施設農住課(☎089(948)5473)まで、お気軽にお問い合わせください。

# はじめませんか? 省エネ住宅でエコライフ。

JAオリジナル住宅

## プレミアムエコキャンペーン

2014年4月1日~12月30日 ※2015年3月31日までに着工可能、及び床面積30坪以上の方に限ります。



エコキュート  
460ℓ

光熱費がお得!  
地球環境にもやさしい  
給湯システム。

期間中、ご成約の方に、  
W  
プレゼント!



遮熱ガラスグレード  
アップ

冷暖房効率  
グ〜ンとアップで  
エコロジー&経済的!



JA/JA全農 お問い合わせはJA全農えひめ 生産資材部 施設農住課 TEL(089)948-5473またはJA窓口まで



## 未来を作り上げていく 「出逢い」と「決断」

「母を元気にさせたい」。これがミス・ユニバース・ジャパン (MUJ) 愛媛大会に応募したきっかけでした。その時は、日本代表に絶対なる！という強い気持ちには正直ありませんでした。ただ母にもっとキラキラ生きて欲しかったのです。

昨年5月末、夜中に急な悪寒で目覚めた母。それから母の体調は急変し、1日に数回の高熱、ひどい時は40度近くにも。国立病院に通い、診断結果が届くたびに手を震わせながら聞く母。命に関わる大病の疑いも晴れない生活が2ヶ月続き、母は精神的にもボロボロに。熱が落ちついてからも、原因が不明だったため「今度いつ倒れるかわからない」と、死を覚悟しているようでした。家族は「お母さんは絶対大丈夫！」と言い続けましたが、大丈夫な保証など正直何もありませんでした。

そんな時、知人カメラマンからMUJの新聞の切り抜きをいただいたのです。コンテストは今まで興味を持ったことのない世界。ましてMUJなんて

遠い遠い存在だったため、もちろんその場で断りましたが、数日後に、愛媛みかん大使でお世話になった方からMUJなんてどう？と声を掛けられたのです。私自身これも何かの縁かな？なんて軽く考え、「とんでもない世界だよね」と、母も笑っていました。しかし翌朝、テーブルには野菜たっぷりのサラダが！「万が一だけけど、気が変わったって応募することになるかもしれないから」と、普段より少しルンルンな母の姿がありました。熱が治まってからも前向きになれず寝込んでばかりいた母の目に輝きが戻ってきたのです。そんな姿を見ることが嬉しくてたまらず、母を励ましたくて応募したMUJ愛媛大会でした。

私の将来の夢は「周りの人にプラスのエネルギーを届けられる人になる」こと。夢・やりたいことが見つからない、夢はあるけど一歩が踏み出せない、自信がない……。そんな方の夢実現のサポートがしたい。でも実際どうすれば良いのか答えが見つかりませんでし

2012年愛媛みかん大使。2014年ミス・ユニバース・ジャパン (MUJ) 初代愛媛代表、日本大会第5位入賞。1991年4月16日生まれ23歳、松山市出身。松山市内の小・中学校、松山北高等学校を卒業。愛媛大学在学中に愛媛みかん大使、MUJを経験する。今春大学を卒業、塾講師やモデルをしながら新たな夢に向かい、語学勉強中。

「私にとっての原点はバスケットボール」。小学5年生で友人に誘われバスケットボールを始める。6年生から通うクラブチームのコーチ (モントリオールオリンピック日本代表選手) の影響で、将来は人の夢をサポートしたいと思うようになる。強い精神面が評価され、部活やクラブチームでキャプテンを務める。高校1年生の時にクラブチームで米国・サクラメントへ遠征、初めて異文化に触れる。バスケットボールは高校3年生まで続け、大学では週1回のバスケサークルと、クラブチームのアシスタントコーチを務める。MUJの過酷なトレーニングをストイックにこなせたのはバスケットで鍛えた精神面の強さが大きく影響していると自己分析をする。「夢に近づくには、もっともっとたくさんの挫折経験が必要。高い目標を持ち、でも自分のペースで楽しみながら人生を歩んでいきたい」。

## かどま 秦 MADOKA HATA



◀MUJのビューティーキャンプにて（左端）。肩に手をおくミス青森は愛媛大会でも強敵（ライバル）だった（笑）、ミス山梨（下段右から2番目）とはプライベートでも食事をする仲に。2週間の泊まり込みキャンプで絆は深まっていく



▲MUJ愛媛大会にて。グランプリ受賞の瞬間、遠くの席でずっと祈っているのが見えたという母（左）と。ドレスやアクセサリーは母と二人で何日もかけて選んだもの

た。そんな時に出逢ったミス・ユニバース。ただ私は愛媛大会に向けて努力していただけで母が、家族が元気になるのです。そう気がついた時、ただ外見の美しさを競うコンテストではない「ミス・ユニバース」の存在の大きさがわかりました。目標に向かって努力する姿で周りの人を元氣付けられる。それは私が愛媛代表に選出されてから、益々感じるようになってきました。SNSを通して届く、「いつも元氣をもらっています」「秦さんの姿を見て私

も頑張ってみようって思った」という嬉しい声。プラスのエネルギーを家族だけでなく愛媛の人々に届けられたと実感した瞬間でした。日本代表になったら愛媛だけでなく、日本そして世界のもっとたくさんの人にエネルギーを届けられる！だから私は日本代表になるんだ！と、強く決心したのです。MUJ日本大会当日。最終5人が残り、4位、3位、2位と発表が終わり、残っているのはミス長崎と私だけ。会場全体を張りつめた緊張感が覆い、ド

ラムロールのみが響くステージ……。私の名前が呼ばれることはなく、夢と将来の計画が全て崩れ落ちた瞬間でした。43都道府県中5位は本当に光栄な結果ではありませんが。しかしMUJを経験したことで私の人生はガラリと変わりました。日本代表はあくまで私の夢を実現する手段でしかなかったのです。私は夢に向かって今でもどんどん走り続けています！

きっかけは本当に些細なことでした。愛媛みかん大使をしていなかったら、母が身体を壊さなかったら、そもそも昨年MUJ愛媛大会が行われなかったなら、全く違った人生を送っていたでしょう。どちらが良いかなんて誰にもわかりません。もしMUJを目指さなかったのなら、将来の旦那様に出逢えていたかもしれません（笑）。些細なきっかけや決断で人生・未来はどんどん変わっていきます！皆様も周りの小さなきっかけを大切にしてみてください。決断には、それがどんなものであっても、周りに迷惑をかけてしまうことが多々あります。今回、何も言わずに見守ってくださった恩人、愛媛代表を目指した同志、関わりがあった方々の色々な想いがあります。だからこそ、途中で逃げ出してはいけません。ごめんなさいではなく、ありがたうの気持ちを含めて、私はこれからも選んだ道を必死に生きていきます！

## ●愛媛県果樹同志会 第30回合同総会

### 男女両同志会を解散し、新たに愛媛県果樹同志会設立 ～牛川慎吾会長ほか役員体制決まる～

愛媛県果樹研究同志会と愛媛県女性果樹同志会は、5月20日、松山市のJ A愛媛別館で第30回合同総会を開き、両同志会を解散して新たに「愛媛県果樹同志会」の設立を決めました。

会長には果樹研究同志会会長の牛川慎吾さん(南予果樹研究同志会)を選任しました。

組織の再編は、高齢化や後継者不足による会員の減少が進む中で、組織活動の維持・活性化を図ろうと、両組織で一昨年から協議を進めてきました。新組織は、7地区の同志会と4地区の女性組織で構成されます。

牛川会長は、「これまで以上に会員相互のコミュニケーション・連携を図り、中身の濃い同志会活動・事業を進めていきたい」と力強くあいさつしました。

平成26年度事業計画では、温州みかんの隔年結果是正対策と高品質安定生産を最重点課題に、意識改革を図りながら関係機関・団体と密接な連携・協調により、県内果樹農業の発展に取り組むことを確認しました。各種研究部会や農政活動を展開するほか、「えひめみかん祭り」「果樹同志会大会」などの活動・行事も従来通



▲(写真左から)岡田副会長、牛川会長、松浦副会長、宮田副会長

り実施します。

TPP反対運動の展開や果樹政策の実現要請、未加入J Aに対する加入促進にも取り組んでいくこととしました。

平成26年度の主な役員は次のとおり(敬称略・カッコ内は所属同志会)。

▽会長=牛川慎吾(南予)▽副会長=松浦喜孝(西宇和)、岡田孝子(南予女性)、宮田清子(えひめ中央女性)▽監事=和田庄司(えひめ中央)、玉川隆則(愛媛たいき)、井上久美(西宇和女性)、有田恵子(えひめ中央女性)

## ●平成25年産愛媛県柑橘類販売反省会

### 市場の要望等を踏まえ販売対策を協議

J A全農えひめ果実課は、5月7日、松山市のJ A愛媛別館で、26年産の販売に向け、「平成25年産愛媛県柑橘類販売反省会」を開きました。J Aの販売担当部課長、京浜・関東・関西地区から市場で組織しているマル媛会の会長が出席。25年産の販売総括を踏まえて出された市場からの要望等を中心に協議・検討しました。

温州みかんは、11月中旬以降は計画以上の数量が入荷して厳しい販売となったことを踏まえ、市場からは精度の高い産地情報の発信と計画出荷等が求められました。

25年産の伊予柑など中晩柑類は、年明け以降みかんの越年量・市場残荷が多く、また寒波の影響等もあって荷動きが鈍く、苦しい販売となりました。市場からは品質重視の厳選出荷、精度の高い産地情報の発信、販売動向を踏まえた柔軟な出荷対応などの要望が出されました。

愛媛オリジナル品種の「紅まどんな」「甘平」は、品質のバラつき是正、高品質安定出荷のほ



か、規格の統一や認知度向上に向けた消費宣伝の拡大が要望されました。

また、全国的に柑橘類の生産が減少傾向の中、リーダー県として愛媛県の生産基盤の維持・拡充への期待、パートナーとなる販売先をきちっと作っていくための企画提案型の販売展開等の協力要請も出されました。今後、こうした意見・総括を踏まえ、26年産のスムーズな販売につなげることにしています。

## ●第19回 愛媛県子牛品評会

# 県知事賞に矢野隆俊さん、井関秀夫さん

J A全農えひめ畜産生産課は、4月18日、西予市野村畜産総合振興センターで「第19回愛媛県子牛品評会」を開きました。優等賞（県知事賞）に、雌の部で矢野隆俊さん（J A愛媛たいき）の出品牛「やよい3」、去勢の部では井関秀夫さん（J Aひがしうわ）の「芳千鳥」が選ばれました。

品評会には、生後1年未満の県内産黒毛和種119頭（雌牛の部53頭、去勢の部66頭）が出品され、月齢に見合う発育をしているか、体積、子牛としてのバランス、資質、品位などを基準に審査し、各賞が決まりました。

品評会後には、今年度第1回目の和子牛臨時市場が開催されました。全国的な子牛相場の高値推移を受けて、kg平均単価は雌が前回2月の価格を6円上回る1,706円、去勢は前回は135円下回ったものの1,972円と引き続き高値水準で取引されました。1頭あたり最高額は64万2,600



▲雌の部で2年連続県知事賞の矢野さんと「やよい3」

円と前回は8,400円上回りました。

その他の入賞者は次の皆さんです（カッコ内はJ A名）。

【雌の部】▽1等賞＝山本誠（ひがしうわ）、中田富章（えひめ南）

【去勢の部】▽1等賞＝矢野隆俊（愛媛たいき）、光沖明（ひがしうわ）

## ●全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）愛媛県予選会 小学生が全国大会出場めざし熱戦を展開

全農杯全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）愛媛県予選会が、5月17日松山市北条スポーツセンターで開かれ、少年少女58人が7月に神戸市で開催される全国大会をめざし、熱戦を繰り広げました。

男女別に小学6年生以下のホープスの部、4年生以下のカブの部、2年生以下のバンビの部の3クラスに分かれ、日頃の練習成果を競いました。予選リーグと決勝リーグを戦って男女各クラス2位以上の選手など、17人が全国大会出場を決めました。

ホープスの部で優勝した天野一樹くん（さくらエリートアカデミー）と徳田明梨さん（伊予つばさJr）は、「全国大会で優勝を目指したい」と目を輝かせていました。

J A全農えひめは、参加賞のほか、男女各クラス3位以上の選手にひめライスやジュースを副賞として提供しました。

卓球日本代表の石川佳純選手が所属するJ A全農は、次世代の少年少女たちの夢を応援しようと昨年と同大会に協賛。全日本や世界卓球



▲（左から）ホープス女子の部入賞者＝2位の長野詩音さん、優勝の徳田さん、3位の木塚陽菜さん

団体選手権東京大会など最高峰の選手や大会だけでなく、世代を超えて日本卓球界の発展を支援しています。

その他の各クラス優勝者は次のとおり（カッコ内は所属）。

▼【カブ】男子＝徳田幹太（伊予つばさJr）、女子＝日吉未梨亜（今治青い麦）▼【バンビ】男子＝川元優輝（今治青い麦）、女子＝篠原夢空（松山卓球教室）

# なんでもBOX

## ●県産農林水産物マッチングセミナー 伊予牛「絹の味」好評価

県・えひめ愛フード推進機構とサントリーピア&スピリッツ(株)主催「愛媛県産農林水産物マッチングセミナー」が、4月22日、アイテムえひめで開催され、JA全農えひめ畜産販売課とJAえひめフレッシュフーズ(株)が出展しました。

これは、飲食店と生産者をつなぐ商談会として、取引・販路拡大をめざして昨年引き続き開催されました。JA全農えひめは、生産者の岡崎晋也さん(JAひがしうわ)とともにサイコロステーキやローストビーフの試食を交え、伊予牛「絹の味」を販売促進・PR。岡崎さんは、「買い手の生の声・評価を直接聞いて良い経験になった。美味しいと食べてもらいうれしかった」と話していました。



## ●第49回えひめ花まつり「花のコンクール」 デルフィニウム等を展示しPR

5月3日・4日の2日間、東温市の愛媛県農林水産研究所農業研究部花き研究指導室で、第49回「えひめ花まつり」が開かれ、JA全農えひめも会場内でオリジナル品種「パルフェ」などの花を展示しました。

この催しは、花に親しんでもらい花の消費拡大につなげようと、毎年開かれており、大勢の来場者で賑わいました。また、5月3日には、「えひめ花まつり花のコンクール」表彰式が行われ、JA全農えひめを通じてデルフィニウムを出品した上田武志さん(JA愛媛たいき・写真)が生産局長賞を受賞しました。



## ●第1回えひめ5時間リレーマラソン 「ふれ愛・媛ポーク」PR

JA共済が特別協賛した「第1回えひめ5時間リレーマラソン」が、5月10日、ニンジニアスタジアムで開かれました。4~10人でチームを作り、1人1周(1km弱のコース)以上走って次走者にリレーし、5時間の周回数を競いました。318チームが出場する中、一般チームに交じって、JA全農えひめやJAのチームも出場し、大会は盛り上がりました。

JA全農えひめ畜産部は、「ふれ愛・媛ポーク」ローススライスを賞品として提供。会場内のビジョンでは「ひめとんボーイズ」による産直豚紹介ビデオ放映を行って商品をPRしました。



## ●「いよっころ」運営協力会総会 “いよっころファン” 拡大を

JAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっころ」運営協力会は5月13日、ウェルピア伊予で平成26年度の総会を開き、26年度事業計画と新会長の竹内勝さん以下新役員体制を決めました。

26年度は、「いよっころファンの拡大」に向けて、新たにお客様モニターを設置・活用するほか、品揃えの拡充による顧客満足度の向上、強みである精肉・惣菜部門の強化、魅力あるイベントの開催、各種情報発信、農業の大切さや地元農産物の魅力を伝える活動の展開などに取り組みます。

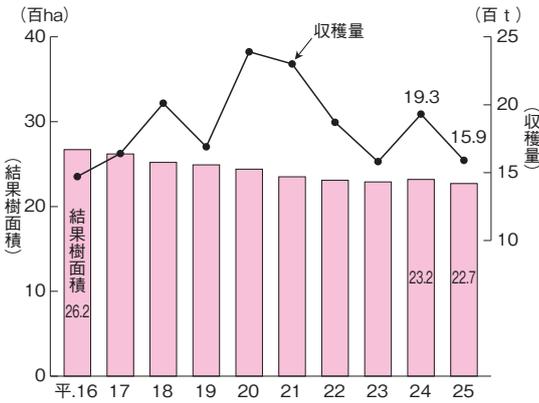


# 統計BOX

## 果実を食べてバランスのよい食生活を

### — 平成25年産くり・かきの結果樹面積及び収穫量調査結果から —

図1 くりの結果樹面積及び収穫量の推移(愛媛県)

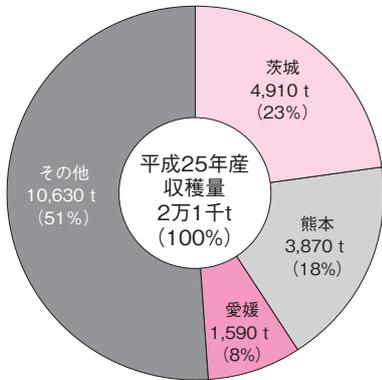


愛媛県の平成25年産くりの結果樹面積は2,270 haで、前年産に比べて50 ha(2%)減少。過去10年間は減少傾向にあり、10年間で400 ha(15%)減少しています。収穫量は、7月中旬以降、高温・

**くりの収穫量は全国第3位**

**新** 鮮な果実は、野菜と同じくバランスのよい食生活に欠かせません。果実は、生活に潤いと豊かさをもたらしてくれるとともに、各種のビタミンをはじめ、カリウム、食物繊維の重要な摂取源であり、健康維持や疾病予防に効果のある成分も豊富に含まれています。今月は、機能性成分が特に多く含まれている果実で全国的に上位にある「くり」と「かき」の生産推移についてみていきたいと思ひます。

図2 くりの都道府県別収穫量割合(全国)

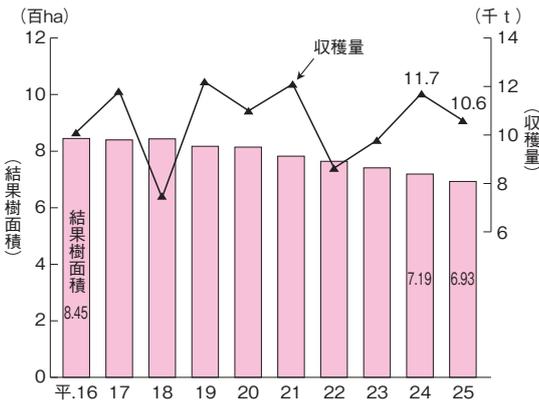


愛媛県の25年産かきの結果樹面積は693 haで、前年産に比べ26 ha(4%)減少。年々減少し、10年間で152 ha(18%)減少しています。収穫量は、7月中旬以降の高温・乾燥傾向により生理落果の助長と果実肥大の抑制などから、前年産に比べて1,100 t(9%)減少し、1万600 tとなりました(図3)。また、全国の収穫量は21万4,700 t。愛媛県は6位(全国シェア5%)となっています。

**かきの収穫量は全国第6位**

乾燥傾向で推移したことから生理落果が助長され、果実肥大も抑制されたため、前年産に比べて340 t(18%)減少し、1,590 tとなりました(図1)。全国の収穫量は2万1,000 t。第1位が茨城県、次いで熊本県、愛媛県の順で、上位3県で収穫量の約半分を占めています(図2)。

図3 かきの結果樹面積及び収穫量の推移(愛媛県)



中国四国農政局 松山地域センター 農政推進グループ

くりには、ビタミンB群、カリウム、食物繊維等、かきには、ビタミンA・C、食物繊維等の栄養成分が特に多く含まれており、これらの果実は、食生活に欠かすことができない食品であり、国民への安定供給が求められています。一方、果実が栽培される園地は中山間の傾斜地に多く、高齢化や後継者不足による廃園が増加傾向です。このような中、消費者の求める新鮮な国産果実を安定的に供給するためには、効率的な生産体制の整備と競争力のある産地にしていく必要があります。皆さんも旬のくだものを食べて、消費拡大を図るとともに、バランスのよい食生活を目指しましょう。

※情報は6月現在です。詳細は各直売所にお問い合わせください。 ※直売所名の後の数字はJAスタンプラリーの番号です。



季節の新鮮な野菜をそろえ、夏はスモモやスイカ、秋季は野菜、切り花、鉢植えも充実してきます。弁当、加工品類もパワーアップ。地元のどぶろくは好評です。



▲10月の収穫祭。親子で芋掘りを楽しもう！

## JAグリーンえひめフレッシュ市 ⑧ ~JA全農えひめ~



### インフォメーション

- Tel/089-964-4300 ●営/8:30~18:00 (10月~3月は17:00)
- 休/年中無休 (12月31日~1月4日は除く) ●住/東温市北野田345

### お楽しみイベント

毎日	子ども(小学生以下)に手づくり綿菓子プレゼント	7月20日	紅白餅プレゼント(先着300名)
雨の日	雨の日感謝デー(特別割引商品あり)	8月8日~15日	お盆セール(シキビ大量入荷)
金・土・日曜	ソフトクリーム、かき氷、たこ焼きなどの店頭販売	9月28日	新米フェア(おにぎり試食会)
7月19日~21日	リニューアル2周年記念大売出し	10月24日~26日	収穫祭・芋掘り無料体験
		12月20日~23日	創業祭(お楽しみ抽選会)

## 福音寺青空市 ⑨ ~JA松山市~



### インフォメーション

- Tel/089-990-3211
- 営/6:30~13:00 (11月~3月は7:00~)
- 休/毎週月・水・金曜 (12月31日~1月3日は除く)
- 住/松山市福音寺44-3



天候に左右されつつも、夏は長ナスを中心にナス各種、キュウリ、スイカが、秋にかけてはピーマン、キャベツも多くなります。その後は、柑橘が主になってきます。



▲人、人、人。早朝の熱気はどこにも負けません！



▲広い店内に旬の農産物がにぎわってます



小田・中山の山の幸、島しょ部(興居島・中島)の島野菜、柑橘も毎日入荷しています。「ひなたカフェ」には他では味わえない地元のソラメ・ジェラートが加わりました！

## おひさまいち 太陽市 ⑩ ~JAえひめ中央~



### インフォメーション

- Tel/089-913-7707
- 営/8:30~19:00 (12月31日は~13:00)
- 休/年中無休 (1月1日~4日は除く)
- 住/松山市湊町8丁目120-1

お楽しみイベント 12月 歳末感謝セール(福引など)



鮮度にこだわる農産物を主力に、指定・直営農場からの精肉ラインナップの充実、ポン酢や肉みそ、七折梅ソフトクリームなどの「いよっからブランド」もおススメです。



▲いよっから特製の本格芋焼酎「いよっから」。芳しい香りとすっきりとした甘さ

## ファーマーズマーケット「いよっから」 ⑪ ~JAえひめアイバックス(株)~



### インフォメーション

- Tel/089-997-3720 ●営/9:00~17:30
- 休/第1火曜(1月1日~4日は除く) ●住/伊予市下吾川511-1

### お楽しみイベント

第1日曜 7月7日 7月20日~22日	店頭フリーマーケット「七夕」企画 すいかまつり	9月15日 9月20日・21日 10月19日	「敬老の日」企画 新米・粟まつり 子ども野菜の絵コンクール
8月 8月 8月	いよっから夏祭り 親子農業体験ツアー 親子料理教室	10月18日・19日 11月5日 11月29日・30日	秋の大収穫祭 「リンゴの日」企画(産地間交流) いい肉の日
8月9日・10日 8月9日~14日 9月6日・7日	ぶどう祭り お盆「お肉祭り」 梨まつり	12月 12月21日~25日 12月28日~31日	「冬至の日」企画 「クリスマス」企画 歳末大売り出し

# JAれんげ市場 ⑭ ~JAひがしうわ~



## インフォメーション

- Tel/0894-69-1211 ●営/8:30~18:30
- 休/第3水曜(1月1日~3日は除く) ●住/西予市宇和町坂戸645-1

## お楽しみイベント

8月9日 お盆セール(金魚すくい、リサイクル市、かき氷サービス)  
 11月下旬の1週間 創業祭(リサイクル市、お楽しみ抽選会など)  
 12月26日~31日 年末セール(しめ縄、餅)



▲果肉たっぷりのイチゴジャム



イチゴ産地の手づくりイチゴジャム、レンゲの蜜入りレンゲ味噌、夏は泥つき掘りたて大野ヶ原大根、お盆を過ぎればブドウをはじめイチジクや柿など、おいしいものであふれています。

# 特産品センターみなみくん ⑮ ~JAえひめ南~



## インフォメーション

- Tel/0895-25-6825
- 営/8:30~18:00(4月~9月の土・日曜のみ7:30~)
- 休/年中無休(1月1日~3日は除く)
- 住/宇和島市弁天町1丁目318-16 道の駅ささいや広場内

**お楽しみイベント** 7月23日・24日 (仮)北海道フェア  
 11月下旬 創業祭(特別価格で柑橘の地方発送受付)



▲贈答用にも喜ばれる、つやつや・びかびか・ハウスミカン



初夏までは河内晩柑、続いてハウスミカン、極早生、早生、南柑20号と、通年求められる柑橘が魅力です。併設の厨房で女性部手づくり弁当、海産物やじゃこ天も各種あります。

# 愛たい菜 ⑫ ~JA愛媛たいき~



## インフォメーション

- Tel/0893-25-6262
- 営/8:30~17:30
- 休/年中無休(1月1日~4日は除く)
- 住/大洲市東大洲1702-1

## お楽しみイベント

第2日曜 出荷者イベント  
 「ふるさとまつり in 愛たい菜」  
 第2水曜 食育ソムリエイベント(試食など)  
 8月上旬 昼市(野菜すくい、かき氷など)  
 12月末 ありがとう抽選会



秋は梨、ブドウ、栗、柿と、フルーツが盛りだくさん。特にブドウはピオーネ、巨峰、瀬戸ジャイアンツと種類も豊富です。アイデア満載の生産者手づくり加工品も要チェック!



▲旬の農産物をたっぷり使ったジェラートもどうぞ

# アゴラマルシェ内 JAコーナー ⑬ ~JAにしうわ~



## インフォメーション

- Tel/0894-35-6565
- 営/8:00~18:00
- 休/年中無休
- 住/八幡浜市沖新田1584

## お楽しみイベント

8月 がんばろう福島フェア(福島県産の桃直売)



全国的にも名の通ったJAにしうわの高品質な旬の柑橘はもちろんながら、共選オリジナルのみかんジュースも並び、ぜいたくな食べ・飲み比べができるのもJAコーナーの醍醐味です。



▲不知火(デコポン)の果汁100%の絶品ジュース。お中元にも是非!

JAバンクえひめ PRESENTS 「JAスタンプラリー」を実施中(8月31日まで)。  
 県内のJA直売所を巡って、おいしい商品ゲットしよう!!

県内JA15直売所のスタンプを集めて当たる!

やったぜ賞  
にこまる(お茶) 30名  
JA松山市  
スタンプ 10個以上

スガお賞  
焼酎詰め合わせ 720ml×4本 (お祝い用) 50名  
スタンプ 3個以上

ありがとう賞  
みかんの形のはみつ 300g (JAにしうわ) 220名  
スタンプ 3個以上

JAバンクえひめ (愛媛県下JA/農協連)

お問い合わせは  
JA愛媛県本部 推進支援課 スタンプラリー係  
〒790-8555 松山市新東通2番地3  
TEL:089-948-5229 (受付時間 月~金 9:45~17:00)

JAバンクえひめ PRESENTS  
 旬を巡る JAスタンプラリー  
 実施期間 ▶ 4.29⑧~8.31⑩

JAの直売所を巡って  
おいしい商品を  
当てよう!

JAバンクえひめ (愛媛県下JA/農協連)

スタンプラリー実施のJA15直売所

- JAうま・おいでや市
- JA東予市街・産直 愛しみ市
- JA新居浜市・あかがね市 四季果実広場
- JA西条・ときめき水都本店
- JA周布・周布中心広場
- JAおしほほり・さいせいきて屋
- JA今治立花・くみあいマーケット商店
- JA全農えひめ
- JAグリーンふゆ フレッシュ市
- JA和山市・稲穂寺青空市
- JAえひめ中央・太陽市(おひさまいち)
- JAえひめアイ(ボックス)・いほつこら
- JA愛媛たいき・愛たい菜
- JAにしうわ・アゴラマルシェ内 JAコーナー
- JAひがしうわ・JAれんげ市場
- JAえひめ南・特産品センター みなみくん



イベント情報



愛媛県歴史文化博物館（西予市宇和町）で、特別展「忍たま乱太郎 忍者の世界 - 夏休みは歴博へ急げ! の段 -」が、7月12日（土）～9月15日（月）に開催されます（※休館日：7/14、9/2、9/8）。  
えひめ野菜のイメージキャラクターに「落第忍者 乱太郎」を採用している J 全農 えひめと J 愛媛野菜生産者組織協議会も特別協力。  
体験コーナーも盛りだくさん! ぜひご来場ください。  
◇観覧料：大人（高校生以上）550円、小中学生・65歳以上 280円

編集後記

★上のイベント情報で紹介した特別展「忍たま乱太郎 忍者の世界」。「乱太郎」がえひめ野菜のイメージキャラクター、原作「落第忍者乱太郎」の物語にしばしば登場する「兵庫水軍」は村上水軍がモデルというつながりで開催されます。  
特別展は、原画や尼子騷兵衛さんの忍者道具コレクションの公開、村上水軍や伊予の忍者の活動紹介、体験コーナーなど楽しい催しもあるそうです。来場する多くの方に、「乱太郎」=えひめ野菜をさらにアピールできればと思います。  
（正直）

●ニユース「ふれ愛・媛ポーク」特別試写会の「銀の匙（さじ）」は、農業高校のお話でその試写会に「ひめとんボーイズ」が「ふれ愛・媛ポーク」をPRし、イベントを盛り上げたとのこと。こういう場に積極的に出向き、JAブランド豚をPRするというのはとても良いことだと思います。  
（大洲市・矢野 博子さん）

●エッセーの作道さんのことはテレビを通じて知っていましたが、自転車に乗るのが好きだなんて知りませんでした。エッセーで自転車に乗る楽しさを感じて、その風景がまるで目に浮かんでくるようでした。私も自転車なんて学生時代から乗っておらず、久々に引つ張り出して乗りたいなと思いました。風を感じて気持ちいいかもしれませんね!  
（四国中央市・山根 奈美さん）

●私は学生の頃自転車がないと不便なところに住んでいたのですが、とにかく毎日自転車に乗っていました。今はまったく乗ることもなく、作道さんのエッセーを読み当時のことを思い出し、懐かしく思いました。娘がもう少し大きくなったからサイクリングを楽しめたらいいなと思います。  
（今治市・後藤 亜紀さん）

●エッセー「自転車に乗ってどこまでも」。退散して自転車に乗る機会が多くなって、さわやかな風を切ってペダルを踏んでいます。これから日差しが強くなるので、日焼けが心配です。  
（西条市・長谷川 光子さん）

●「乱太郎トラック」いいですね。見ているこちらまで笑顔になります。  
キウフルーツのかいよう病で、木の伐採を始め幹や枝なども処分すると新聞に書いてありました。残念ですし、売れ行きに影響が出ないか心配です。  
（今治市・阿部 節男さん）

●少し前に椎茸を多くいただきました。一度に食べきれないので、乾椎茸にしてみました。また、最近、しいたげが冷凍できると聞いて挑戦。いつでも食べられるっていいですね。  
毎年、JAを通じてみかんジュースが届けるのですが、その中にボンスパークリングとか、最近の新しい商品もメニューに加えられたら楽しいのに...と思います。  
（八幡浜市・岡 葉子さん）

今月のクイズ

昨年2月に愛媛県の奨励品種に採用された、水稲の高温耐性品種の名前は何?

「○○○○」

**プレゼント**  
クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

**応募方法**  
折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

**締切り**  
平成26年7月21日（当日消印有効）

**発表**  
「あぐり〜ど」8月号で発表します。

**当選者発表**  
4月号の答えは「えひめ野菜」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 猪川 義晴さん（四国中央市） | 益崎 君枝さん（上島町）   |
| 岡田 隆義さん（今治市）   | 小倉 朝美さん（松山市）   |
| 小林 雄二さん（松山市）   | 寺尾 由美さん（四国中央市） |
| 大西 初美さん（松山市）   | 田中 映さん（宇和島市）   |
| 宝利 礼子さん（四国中央市） | 高橋千代美さん（西条市）   |



今月の素材  
ビワ



実は、おいしさの証しなんです!  
そばかす、赤あざ、縦割れひび

ばっ煮 (左) ビワの白和え、(前) ビワの生春巻、(右) ビワと豚肉のさっぱり煮



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古正子先生

ビワの白和え

〈材料・4人分〉	※1人あたり約142kcal
ビワ	8個
コンニャク	1/2丁(約120g)
ホウレンソウ	1束
木綿豆腐	1丁(約200g)
酒	大さじ1
砂糖	大さじ3
① 塩	小さじ1/2
② 薄口醤油	小さじ2
③ すりゴマ	大さじ2
枝豆(塩茹で)	適量
ミョウガ	1本
④ 水	大さじ3
⑤ 砂糖	大さじ1
⑥ 酢	大さじ1

〈作り方〉

- ① ミョウガは4等分し、さつと茹で、⑥につけておく。
- ② コンニャクは3cmの長さに短冊切りし、茹で、水にさらす。
- ③ ホウレンソウは茹で、氷水にとり、水気をよく切り、3cmの長さに切る。
- ④ ビワは皮をむき、種を取り、1cm幅の櫛切りにする。
- ⑤ 豆腐は水から茹で、沸けば取り出し、水気をよく切っておく。
- ⑥ すり鉢で⑤をよく混ぜ、①で調味して白和え衣を作り、②③④と混ぜ合わせる。
- ⑦ 器に盛りつけ、むいた枝豆と①を盛る。

ビワの生春巻

〈材料・4人分〉	※1人あたり約155kcal
ビワ	6個
サニーレタス	2枚
アボガド	1/2個
エビ(ボイル)	4尾
イカ(刺身用)	40g
ミョウガ	1本
ライスペーパー	4枚
塩	少々
黒コショウ	少々
オリーブオイル	小さじ4
ポン酢	大さじ4

〈作り方〉

- ① ビワは縦4つに切り、種を取り、皮をむく。
- ② サニーレタスは適当な大きさにちぎり、アボガドは縦4つに切る。
- ③ エビは殻をむき、イカは細切りにする。
- ④ ミョウガは千切りにし、水でさらしておく。
- ⑤ 水か湯で戻したライスペーパーに①②③④をのせ、塩・コショウを振りかけ、巻く。
- ⑥ ⑤を食べやすい大きさに切り、器に盛り、オリーブオイルをかける。好みにポン酢をかける。

ビワと豚肉のさっぱり煮

〈材料・4人分〉	※1人あたり約454kcal
ビワ	8個
レモン汁	少々
豚肉(モモ・角切り)	300g
塩	小さじ1
キウイフルーツ	50g
ジャガイモ	中1個
オリーブオイル	適量
① 酒	400cc
② 塩	小さじ1
③ スプラウト	適量

〈作り方〉

- ① ビワは縦半分になり、種を取り、皮をむき、レモン汁をかける。
- ② ナイロン袋に豚肉と、塩、櫛切りキウイを入れ、なじませておく。
- ③ ジャガイモは皮をむき、8つに切る。
- ④ 鍋にオリーブオイルを熱して②③を炒め、①を加え、③が柔らかくなるまで弱火で煮る。
- ⑤ ④の味を調べ、①を加えて、さつと煮込む。
- ⑥ 器に盛りつけ、スプラウトをのせる。

※キウイの代わりにパイナップルでも可。  
※①の酒は、梅酒や焼酎でも可。

# 塩と夏みかん

SALT & NATSUDAIDAI

熱中症対策に!

瀬戸内産  
夏みかん 使用

のどの渇きに最適な  
アイソニック飲料

冷やしても  
凍らせてもおいしい

〒791-8603 松山市安城寺町478番地  
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

http://www.ehime-inryo.co.jp  
(通販専用) http://www.pom-j.com



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

JA全農えひめ

# 2014 愛媛みかん大使募集

2014 The 56th Ehime Mikan Ambassador Since 1959

募集期間 <small>(当日消印有効)</small>	平成26年 <b>6月9日(月)~7月17日(木)</b>	賞品 <small>愛媛みかん大使 (4名)全員に...</small>	<b>賞金20万円</b>
応募方法	下記応募先に 応募用紙 または、 履歴書を郵送！	JA全農えひめ ホームページから 直接応募！	携帯サイト から直接応募！
スマートフォンはこちらから ▶		携帯サイトはこちらから ▶	

応募先およびお問い合わせ ☎790-8555 松山市南堀端町2番地3 JA全農えひめ 果実課「2014 愛媛みかん大使募集係」  
 Tel.089-948-5766 Fax.089-948-5779 <http://www.eh.zennoh.or.jp>

2014 みかん大使
検索

主 催／JA全農えひめ ※個人情報管理は、愛媛みかん大使事務局にて適切に管理し、選考(発表を含む)並びに記念品等の発送に利用させていただきます。

この冊子は再生紙を使用しています。